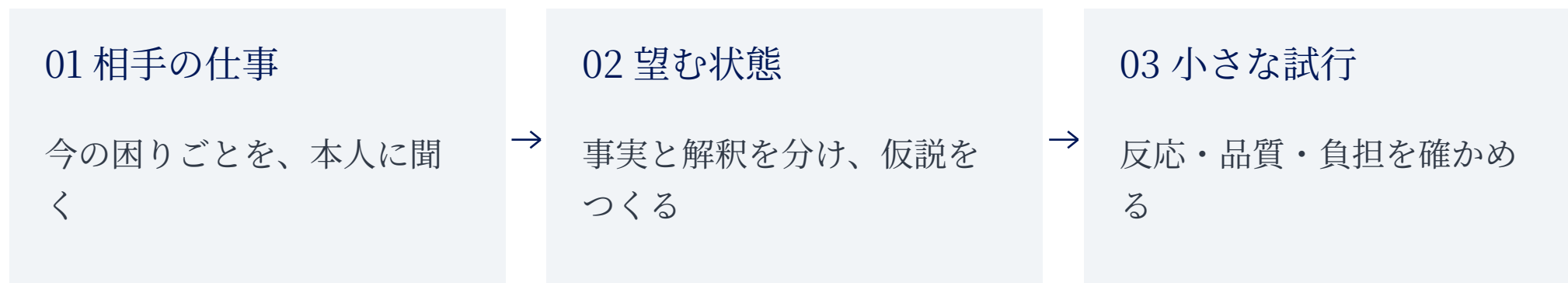


改善する力を、新しい価値づくりへつなぐ

No.001 2020年10月27日発表 / 2026年10月24日改訂

日常の仕事で、何を確認め、どこを変えるかを整理する提案です。

確認を進めるための整理（当社提案）



改善の経験を活かし、相手の次の必要を小さく確かめる。

利用する場面・本人の条件・必要な支援に合わせて確かめます。

同じ場면을、何から確かめるか

No.001 2020年10月27日発表 / 2026年10月24日改訂

使い方を示す架空の例

納品は速いが、受入れの手間が残る

見直す前の条件

納品日数の短縮だけを目標にしていた

次に確かめること

照合に必要な表示を一種類の納品で試す

顧客に受入れの手順を聞き、照合に必要な表示を一種類の納品で試します。照合の手間、誤り、納品側の負担を確かめ、次の変更を相談します。速さの改善と、顧客の別の困りごとの解消を一緒に考える例です。

次の一件で使う、四つの確認

No.001 2020年10月27日発表 / 2026年10月24日改訂

1 相手の仕事で起きている事実を聞いたか

確認済み / 要確認 / 相談する

2 望む状態を、相手に確かめる仮説にしたか

確認済み / 要確認 / 相談する

3 試す範囲と、時間・権限・支援を揃えたか

確認済み / 要確認 / 相談する

4 相手の反応、品質、双方の負担を確かめたか

確認済み / 要確認 / 相談する

説明できる範囲と、確認が必要なこと

No.001 2020年10月27日発表 / 2026年10月24日改訂

本資料は当時の発表を改訂した当社の実践提案です。仕事の条件に合わせて使い、本人や相手の反応から見直します。個別手法の成果や、一律の習得期限を保証するものではありません。

二つの職場調査と一つの実験で、仕事への内発的な動機、他者に役立ちたい動機、他者の視点を取ることと、創造性の評価との関係を調べた研究です。職場調査の相関と実験の結果は区別します。当社の育成方法や顧客需要の増加を直接検証したものではありません。

参照した一次資料

Grant & Berry (2011) The Necessity of Others is the Mother of Invention: Intrinsic and Prosocial Motivations, Perspective Taking, and Creativity

https://discovery.ucl.ac.uk/10164876/1/GrantBerry_AMJforthcoming-ProsocialCreativity.pdf

今回改めたことと、資料の使い方

No.001 2020年10月27日発表 / 2026年10月24日改訂

誰でも創造力が高まるという保証や、実験再現性の断定を改めました。当時の活動規模を個別手法の効果検証数と分け、大学等の共同開発を示すような説明を外し、画像と資料を更新しました。

発表当時の記録を保持し、改訂内容と日付を示します。本資料の例や確認項目は、個別の条件に合わせて使うための提案です。

現在の公開資料と使い方の案内

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000343.000068315.html>

お問い合わせ：リクエスト株式会社

request@requestgroup.jp

<https://requestgroup.jp/request>